

IV 保健対策

保 健 対 策 課

保健対策課は専門的な対人保健サービスの提供と、保健医療を中心とした地域ネットワーク構築を役割として、感染症対策、障害児（者）保健、障害児（者）歯科保健、難病対策、精神保健福祉及び医療費助成等の事業を担当した。

1 感染症対策

(1)麻しんやインフルエンザ等の感染症予防、(2)エイズ対策、(3)結核対策の3分野を実施している。

(1) 感染症予防

感染症発生時には法に基づいた疫学調査（法第 15 条）や健康診断（法第 17 条）等を行い、感染拡大防止や二次感染予防、感染症に対する普及啓発等を行った。また、平常時から、感染症発生動向調査事業や小児感染症サーベイランス事業により、感染症の発生状況を迅速に収集し、医療機関等に情報を発信し、感染症の流行時等には、必要に応じ学校等への周知とともにホームページや広報などで市民への注意喚起を行った。

ア 感染症届出状況

法第 12 条に基づく八王子市内の医療機関からの平成 22 年度届出件数は 167 件であった。

感染症発生件数（表 1-1）

区分		疾 患 名																										
		一類					二類				三類			四類		五類												
年	総	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう（天然痘）	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ（H5N1）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	レジオネラ症	オウム病	アメーバ赤痢	後天性免疫不全症候群	クロツフェルト・ヤコブ病	破傷風	風しん	麻しん	梅毒	ジアルジア症
		度	数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	167	—	—	—	—	—	—	—	138	—	—	—	—	2	6	—	—	—	1	4	5	1	1	—	9	—	—	

イ 感染症の診査に関する協議会

法に基づき、入院の勧告、就業制限、結核患者等の医療費公費負担等について、保健所に設置された「感染症の診査に関する協議会」で必要な事項を審議し、その意見を反映した。平成 22 年度は 41 回開催した。

平成 22 年度 協議会開催状況（表 1-2）

区 分	定例協議会	緊急協議会
開催回数	24 回	17 回

* 定例協議会は原則第 2、第 4 金曜日に開催

ウ 積極的疫学調査

感染症発生時、法第 15 条に基づく積極的疫学調査を行い、感染経路の特定や二次感染の予防に努めた。また、必要時には調査の一環として検体検査（麻しん、ノロウイルス等）を行った。

積極的疫学調査実施状況（表 1-3）

区 分	麻しん	ノ ロ ウ イ ル ス	赤 痢	腸 管 出 血 性 大 腸 菌	結 核	レ ジ オ ネ ラ	イ ン フ ル エ ン ザ	疥 癬	そ の 他	計
高 齢 者 福 祉 施 設	—	2	—	—	2	—	—	2	—	6
障 害 者 福 祉 施 設	—	1	—	—	1	—	—	—	—	2
学 校	1	6	—	—	2	—	8	—	2	19
保 育 園 幼 稚 園	2	4	—	1	—	—	1	—	2	10
病 院	—	2	—	—	12	—	1	1	2	18
そ の 他	—	—	—	1	4	—	—	—	—	5
小 計	3	15	—	2	21	—	10	3	6	60
個 人	2	—	3	8	103	—	—	—	4	120
合 計	5	15	3	10	124	—	10	3	10	180

エ 健康診断

感染症発生時に、法第 17 条に基づき、患者・関係者に対し健康診断を実施した。

（結核に関するものは別途記載）

検便実施状況（表 1-4）

区 分	検 査 件 数	陽 性 者 総 数	内 訳			
			大 腸 菌 感 染 症	腸 管 出 血 性	赤 痢	腸 チ フ ス
総 数	55	9	41	—	12	2
病後経過者	27	8	21	—	6	—
患者関係者	28	1	20	—	6	2

オ 施設調査

平常時における感染症予防対策の充実を図ることを目的とし、集団生活が行われている施設の感染症対策の実態を把握するため、市内の児童福祉施設（131 施設）に対して調査票記入による現状調査と、訪問調査を実施し、あわせて予防対策及び発生時の拡大防止対策の普及啓発を行った。

カ 八王子市小児感染症サーベイランス事業

八王子市における小児感染症にかかわる情報を迅速に収集・分析・発信し、小児感染症のまん延を防止するために、感染症発生動向調査事業の定点である 11 医療機関（23 年 1 月より 7 医療機関追加）に市独自の 3 医療機関を加えた市内の小児科 14 医療機関の協力により、毎週報告を集約しホームページで情報を発信している。また、感染症発生動向の情報提供及び感染症予防対策推進の検討を目的として、年に 1 回小児感染症サーベイランス検討委員会を行っている。

キ 健康教育

感染症の発生予防とまん延防止対策を普及啓発するため、健康教育を実施している。

感染症健康教育実施状況（表 1－5）（結核と HIV に関するものは別途記載）

実施日	テーマ	講師	対象者	参加者数
22 年 6 月 17 日	子どもの感染症と予防	保健師	家庭福祉員	20
7 月 7 日	食品衛生実務者講習会	保健師	飲食店、給食施設関係者	322
7 月 14 日	小規模プール講習会	保健師	保育園、幼稚園等管理者	72
10 月 7 日	消防署における感染対策	医師	消防署職員	140
10 月 19 日	理美容所衛生管理者講習会	保健師	理美容所従事者	200
10 月 25 日	理美容所衛生管理者講習会	保健師	理美容所従事者	100
10 月 26 日	理美容所衛生管理者講習会	保健師	理美容所従事者	61
11 月 18 日	食品衛生実務者講習会	医師	飲食店、給食施設関係者	182
12 月 2 日	感染症予防講習会	医師・保健師	児童福祉関係者	65
12 月 17 日	感染症予防講習会	医師・保健師	高齢者福祉関係者	41
23 年 2 月 17 日	知っておきたい感染症対策	保健師	警察署職員	70

ク インフルエンザ様疾患調査

国の通知に基づき、保健所管内において、その年初めて臨時休業（インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等）があった場合には、その学校に在籍する児童・生徒のインフルエンザ疾患調査（うがい液検査）を行っているが、22 年度は新型インフルエンザの流行対策を実施したため、従来の調査は実施しなかった。

集団かぜによる学級閉鎖状況（各月あたり延べ数）（表 1－6）

年 度	区 分	総 数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
21	学校数	304	44	105	106	27	9	13	—	—	—	—
	学級数	1,484	186	748	452	58	18	22	—	—	—	—
22	学校数	118	—	—	1	6	39	36	23	12	—	1
	学級数	240	—	—	1	8	67	85	54	24	—	1

ケ 肝炎ウイルス検査、相談及び陽性者への保健指導

過去に検査を受けたことがなく、かつ職場等でも検査を受ける機会のない39歳以下の市民を対象に、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス検査を市内医療機関に委託して無料で行うとともに、陽性者（健康増進法による検診対象者を含む。）に対しては、治療勧奨、肝炎手帳の配布、医療費助成の案内等、保健指導を行った。また、ウイルス肝炎に関し健康不安を抱える市民などからの相談を受け、検診の勧奨や正しい知識の普及に努めた。

ウイルス肝炎検査等実施状況（表1-7）

検査			陽性者			陽性者への保健指導		
計	B型	C型	計	B型	C型	計	B型	C型
372	186	186	11	8	3	11	8	3

(2) エイズ対策

エイズ予防のための知識の普及とHIV感染に対する不安、悩み等の解決を図るため、医師、保健師による相談（電話・来所）及び抗体検査を行った。平成17年10月からHIV迅速検査を開始し、月1回（第1水曜日）、通常の抗体検査と併せて実施している。

エイズ抗体検査時、希望者には併せて、梅毒、クラミジア感染症、淋菌感染症の性感染症の検査も実施した。

健康教育については若い世代と男性同性愛者への啓発活動を重点項目とし、エイズ・ピア・エデュケーションを行った。エイズ・ピア・エデュケーター養成講座を18回実施し、24名のエデュケーターを養成した。

ア エイズ相談・HIV抗体検査実施状況（表1-8）

年度	相談									HIV抗体検査			性感染症検査								
	総数			電話			来所						梅毒血清検査			クラミジア抗体検査			淋菌検査		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
21	2,949	1,791	1,158	355	225	130	2,594	1,566	1,028	1,211 (421)	732	479	980	578	402	979	578	401	391	234	157
22	3,024	1,950	1,074	307	194	113	2,717	1,756	961	1,347 (446)	859	488	1,108	698	410	1,106	698	408	532	343	189

*（ ）内は迅速検査実施分（再掲）

イ エイズ健康教育実施状況（表1-9）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人員
22年4月 ～23年3月 (計18回)	HIV/AIDS ピアエデュケーター養成講座	保健師	学生	107
22年5月9日	学生天国	保健師、 ピアエデュケーター 12名	学生天国来場者	500
7月13日	HIV/AIDSと共に生きる基 礎講座 地域で支える療養支援	東京医科大学八王子医療センター 田中朝志氏 NPO法人ふれいす東京 牧原信也氏	在宅介護支援者等 医療機関関係者	88
7月23日	HIV/AIDSの正しい知識、 予防法を理解する	保健師、 ピアエデュケーター 1名	多摩職業能力開発 センター八王子校	54
7月28日	性感染症の予防について	医師、保健師	更生施設	160
10月23日	帝京大学学園祭	保健師、 ピアエデュケーター 11名	学生	500
23年3月3日	セクシャリティを配慮した児童・ 生徒との関わりを考える	NPO法人アカー藤部荒術氏 飯塚信吾氏	教育関係者	9
3月7日	HIV/AIDSについて パートナーとの付き合い方	保健師、 ピアエデュケーター 5名	中学3年生	178
3月9日	HIV/AIDSについて パートナーとの付き合い方	保健師、 ピアエデュケーター 4名	中学3年生	68

(3) 結核対策

結核の予防、早期発見、再発防止及び感染拡大防止を図るため、患者の登録、入院の勧告、就業制限、療養支援、治療終了後の管理検診及び家族・接触者に対する検診・保健指導を実施し、並びに医療費の公費負担事務を行った。平成16年10月からは、治療完了支援としてDOTS（Directly Observed Treatment Short-course：直接監視下短期化学療法）事業を行っている。

ア 結核登録者状況

年末現在登録者数（活動性分類、受療別）（表1-10）

（平成22年12月31日現在）

区分	登録患者数											潜在性結核 (別掲)		
	登録者 総数	活動性結核									活動性 不明			治療中
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性					
			総数	初回治療	再治療	結核菌陽性 その他の 菌陰性・その他	不活動性結核							
21年総数	239	91	73	29	26	3	30	14	18	121	27	8	34	
22年総数	262	91	73	21	18	3	42	10	18	149	22	16	17	
医療形 態	入院中	23	23	17	8	7	1	8	1	6	—	—	—	—
	外来治療中	66	66	55	13	11	2	33	9	11	—	—	16	—
	治療なし	170	—	—	—	—	—	—	—	—	149	21	—	17
	不明	3	2	1	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—

年末現在登録者数（活動性分類、年齢階級別）（表1-11）

（平成22年12月31日現在）

区分	登録患者数											潜在性結核 (別掲)	
	登録者総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明		
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性					
			総数	喀痰塗沫陽性			結核菌陽性 その他の		菌陰性・その他				
		総数	初回治療	再治療						治療中	観察中		
21年総数	239	91	73	29	26	3	30	14	18	121	27	8	34
22年総数	262	91	73	21	18	3	42	10	18	149	22	16	17
～ 4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
5～ 9	1	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
10～ 14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
15～ 19	5	2	2	1	1	—	1	—	—	3	—	1	—
20～ 29	29	10	8	2	2	—	5	1	2	16	3	3	1
30～ 39	29	9	8	2	2	—	5	1	1	18	2	4	8
40～ 49	42	8	8	—	—	—	4	4	—	25	9	2	5
50～ 59	33	16	11	2	2	—	6	3	5	16	1	2	2
60～ 69	49	17	16	7	6	1	9	—	1	30	2	3	—
70～	74	28	20	7	5	2	12	1	8	41	5	—	—

新登録患者数（活動性分類、受療別）（表1-12）

（平成22年1月1日～12月31日）

区分	登録患者数									潜在性結核 (別掲)
	登録者総数	活動性結核							肺外結核活動性	
		総数	肺結核活動性				結核菌陽性 その他の	菌陰性・ その他		
			総数	初回治療	再治療					
		総数	初回治療	再治療						
21年総数	95	75	25	23	2	33	17	20	18	
22年総数	106	85	30	24	6	45	10	21	22	
医療形態	入院中	45	36	25	21	4	10	1	9	—
	外来治療中	59	47	3	2	1	35	9	12	22
	治療なし	2	2	2	1	1	—	—	—	—
	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—

新登録患者数（活動性分類、年齢階級別）（表 1 - 1 3） （平成22年1月1日～12月31日）

区 分	登 録 患 者 数								潜 在 性 結 核 (別掲)
	登 録 者 総 数	活 動 性 結 核							
		肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀痰塗沫陽性			結 核 菌 陽 性	そ の 他		
総 数	初 回 治 療		再 治 療						
21年総数	95	75	25	23	2	33	17	20	18
22年総数	106	85	30	24	6	45	10	21	22
0～4	—	—	—	—	—	—	—	—	1
5～9	1	—	—	—	—	—	—	1	—
10～14	—	—	—	—	—	—	—	—	1
15～19	1	1	—	—	—	1	—	—	1
20～29	13	11	4	4	—	5	2	2	3
30～39	12	11	3	3	—	6	2	1	8
40～49	5	4	—	—	—	2	2	1	2
50～59	15	11	3	3	—	5	3	4	3
60～69	18	16	5	4	1	11	—	2	3
70～	41	31	15	10	5	15	1	10	—

結核健康診断実施状況（表 1 - 1 4）

区 分	検 査 内 容						結核有所見	
	総 数	ツベルクリン 反応検査	Q F T 検査	エ ッ ク ス 線 間 接 撮 影	エ ッ ク ス 線 直 接 撮 影	喀 痰 検 査	結 核 患 者	要 観 察 者
2 1 年 度 総 数	2,643	18	252	124	2,249	—	1	—
2 2 年 度 総 数	2,584	22	291	116	2,155	—	5	—
接 触 者 健 診	714	22	291	—	401	—	5	—
患 者 家 族	142	9	54	—	79	—	4	—
接 触 者	572	13	237	—	322	—	1	—
管 理 検 診	53	—	—	—	53	—	—	—
結核対策特別促進事業	195	—	—	—	195	—	—	—
受 託 検 診	1,622	—	—	116	1,506	—	—	—

イ 結核患者に対する医療

感染症の診査に関する協議会において、結核医療の適否について診査を行った。この結果、承認された者に対して、医療費公費負担を実施した。

結核医療費関係公費負担診査状況（表 1-15）

区 分	一般患者（37条の2）			入院患者（37条）		
	申請	承認	不承認	申請	承認	不承認
21年度総数	157	156	1	92	92	—
22年度総数	181	181	—	92	92	—
初 回	129	129	—	30	30	—
継続再発	52	52	—	62	62	—

ウ 結核地域DOTS事業支援状況（平成16年10月開始）（表 1-16）

区分	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	計
21年度	24	5	76	105
22年度	36	8	90	134

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者・・・保健所来所、保健師その他関係者の自宅訪問、調剤薬局等でほぼ毎服薬確認

Bタイプ：服薬支援が必要な患者・・・保健所の来所または調剤薬局等で服薬確認

Cタイプ：A、Bタイプ以外の患者・・・電話・手紙・調剤薬局等で服薬確認

エ 結核健康教育実施状況（表 1-17）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人数
22年10月13日	結核の基礎知識と検診について	医師・保健師	施設関係者	33
10月19日	学校における結核対策	医師・保健師	学校関係者	61
23年2月10日	結核予防講習会（結核の早期発見と治療）	医師・保健師	医療関係者	35

2 受託検診

一般の医療機関や検診機関では対応が困難な障害者通所施設の通所者などを対象に、所内で健康診断を行った。

また、保健所に来所できない老人福祉施設については、検診車で検診を行った。

受託検診（障害者施設等）実施状況（表 2-1）

区 分	実施回数	総 数	エックス線	
			所 内	所 外
21年度	44	1,665	716	949
22年度	43	1,622	675	947

3 障害児等支援

(1) 療育相談事業

平成 19 年度から自立支援医療（育成医療）や小児慢性疾患の医療費助成の申請・受理を保健所で実施し、長期にわたり療養を必要とする子どもや重度心身障害児（者）の療養上の相談や講演会、患者会支援等を行っている。

ア 療育相談事業

保健師による家庭訪問や面接相談を行い、療養上の相談に応じている。

また、東京都で実施している「在宅重症心身障害児（者）訪問事業」の申請・経由の窓口であり、必要に応じて社会資源の紹介、関係機関調整などを実施している。

(表 3-1)

年度	区 分	家庭訪問 (延べ)	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
22 年度	心身障害児（者）	82	29	298	15	262
	（再掲） 重症心身障害児（者）	(80)	(27)	(275)	(13)	(257)
	長期療養児	2	2	75	2	15

イ 在宅重症心身障害児（者）訪問事業

(表 3-2)

年 度	利用者数	新規（再掲）	個別ケア会議 (回)
22 年度	24	13	64

* 西部訪問看護事業部との連絡会として在宅療育支援地域連絡会議を 1 回開催した。

ウ 講演会

(表 3-3)

開 催 日	会 場	内 容	対 象	参加 人数
22 年 10 月 26 日	保健所	「子どものてんかん～基礎知識と対応のポイント～」 講師 国立精神・神経医療研究センター 中川 栄二医師	家族、保育園 、幼稚園職員	26 名
22 年 11 月 8 日	保健所	「こどもの 2 型糖尿病～増え続けている子どもの肥満と糖尿病～」 講師 東京女子医科大学 糖尿病センター 内潟 安子医師	本人、家族、 小中学校の栄養士、看護教諭	19 名

エ 障害児グループ支援

「ダウン症児を持つ親子の会（ひよこの会）」に、会場提供、企画の相談、代表者のサポートなどの支援を継続実施している。

(表 3-4)

会 場	開催回数	参加人数(延数)	内 容
保 健 所	年間 10 回	145 組 291 名	クリスマス会、音楽コミュニケーション、歯科相談、交流会、先輩ママの話等

4 歯科保健

歯や口の健康を保つことは、単に食物を咀嚼することにとどまらず、食事や会話を楽しむなど豊かな人生を送るための基礎となり、むし歯や歯周病予防は、日常の生活習慣の改善や自己管理能力の向上が重要となるため、各種研修会など、あらゆる機会を利用して、普及啓発に努めた。

また、歯科保健サービスを受ける機会の少ない障害者を対象に、障害者歯科保健推進事業を実施し、障害者の日常生活に根ざした歯科保健医療の環境づくりを推進した。

(1) 障害者歯科保健推進事業

ア 障害者歯科相談

(ア) 歯科保健指導

受託検診受診者を対象に歯みがきの自立や口腔の健康保持・増進を目指して、歯科保健指導を行った。

(イ) 訪問歯科保健指導

在宅障害者、難病患者等に訪問指導を行った。

障害者歯科保健指導 (表 4-1)

年 度	障害者歯科保健指導										事後指導		訪問歯科保健指導					
	対 象		実 施 施 設 数	実 施 人 数	障 害 児	心 身 障 害 者	精 神 障 害 者	難 病 患 者 等	実施回数		経過視察		実 施 回 数	実 施 人 数	延 べ 人 員	障 害 児	難 病 患 者	そ の 他
	施 設 数	利 用 者 数							保 健 所 内	保 健 所 外	実 施 回 数	実 施 人 数						
21年度	48	723	35	509	—	509	—	—	32	11	10	168	3	3	3	—	3	—
22年度	46	689	36	475	—	475	—	—	31	7	7	144	9	5	9	—	9	—

イ 講習会開催状況

障害者施設職員等に講習会を実施し、歯みがき支援及び摂食嚥下の必要性を伝えた。

講習会開催状況（表 4 - 2）

開催施設数	実施回数	内 容	参加人数
7	7	口腔ケア・摂食嚥下	258

(2) 歯科保健普及事業

各種歯科保健活動の支援

ア 保育所・幼稚園の歯科保健に対する取組状況を把握し支援するため、歯科健診結果等を収集し、分析した。

イ 保育所・幼稚園の歯科保健活動の充実のため担当職員を対象に研修会を開催した。

ウ 市内在住・在勤の方を対象に「地域歯科口腔保健研修会」を開催し、普及を図った。

歯科保健普及対策状況（表 4 - 3）

区 分	内 容	実施回数	参加人数
歯 科 保 健 活 動 支 援	保育園・幼稚園歯科保健研修会 「食べる力の発達が『生きる力』を育てる」 芳賀デンタルクリニック院長 芳賀定氏	1	42

(3) 電話・来所相談

相談状況（表 4 - 4）

計	来 所	電 話
20	2	18

5 環境公害保健

(1) 光化学スモッグ被害対策

保健所は、光化学スモッグによると思われる健康被害の届出を受けた場合は、被害状況の把握及び必要に応じて現地調査を行っている。なお、平成22年度の光化学スモッグによる健康被害の届出件数は1件であった。

(2) 大気汚染障害者認定審査会

大気汚染に係る健康障害者の医療費助成を行うため認定審査会を設置し、月1回審査を行った。

平成23年3月末現在の八王子市の認定者数は4,950人であった。

平成22年度大気汚染医療費助成申請件数（表 5 - 1）

区 分	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月
新 規	664	64	81	57	40	57	48	51	49	51	58	47	61
更 新	1,649	83	75	53	61	125	146	155	146	177	187	227	214
合 計	2,313	147	156	110	101	182	194	206	195	228	245	274	275

(3) アレルギー講演会

アレルギー性疾患及び療養に関する知識・技術の普及を行うため講演会を開催した。

(表5-2)

開催日	実施場所	内 容	参加人数
22年9月10日	八王子市保健所	講演会「乳幼児のアトピー性皮膚炎～正しいスキンケアを知ろう～」 講師：八王子市医師会 京王八王子クリニック 末松 隆子 医師	49人 保育あり

6 特殊疾病対策

特殊疾病の患者・家族は、疾病の特殊性から医療面・経済面・介護面などに種々の問題を抱え、長期の療養生活を余儀なくされている。

保健所では医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等の地域の関係機関とのネットワークの充実を図りながら、患者・家族の医療や療養生活に関する問題に対し支援を行なっている。

平成19年度から難病医療費助成の申請窓口が保健所に移り、早期の相談対応が可能になった。

(1) 特殊疾病対策事業訪問相談

特殊疾病対策事業訪問等相談実施状況（表6-1）

区 分	総 数	家庭訪問	所内相談	電話相談	その他の 相 談	関係機関 連 絡	
21年度	2,440	357	237	710	546	590	
22年度	1,798	307	310	692	182	307	
内 訳	保 健 師	1,737	256	310	688	182	301
	理学療法士	42	42	—	—	—	—
	栄 養 士	—	—	—	—	—	—
	歯科衛生士	19	9	—	4	—	6

(2) 難病講演会

難病講演会実施状況（表6-2）

開催日	内 容	参加人員
22年 9月25日	「パーキンソン病の基礎知識～診断初期の心構えと生活の工夫～」 講師：東京都立神経病院 医師	52人
22年10月31日	「今日から始めよう！自宅でできる嚥下支援」 講師：東京都立神経病院 言語聴覚士	37人
22年12月10日	難病療養支援交流会「自分らしく生きる～難病とともに～」 (療養者・家族・療養支援関係者の意見交換)	65人

(3) 患者会支援育成

喜楽会・さわやか会（パーキンソン病・神経難病患者交流会）、八王子にじの会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の療養者・家族の会）、あいの会八王子（網膜色素変性症の療養者・家族）、八王子を中心に活動している患者会3団体を支援した。

患者会開催状況（表6-3）

区分	回数	参加延人員
21年度	25	716
22年度	27	736

(4) 医療機器貸与及び訪問看護

気管切開、人工呼吸器装着の難病等の在宅療養者に東京都医療機器貸与事業により、吸引器・吸入器の貸与を行っている。またこの事業利用者に対し、訪問看護ステーションによるサービスだけでは不足する場合に訪問看護師を派遣した。

これらの制度を活用している事例では多機関多職種の支援を得て在宅療養をしているため、保健師が在宅療養に係る関係機関の連絡調整を行い、患者・家族の安定した療養環境の整備に努めている。

医療機器貸与実施状況（表6-4）

区分	貸与者数 (人)	機器貸与件数		訪問看護利用者数 (人)	訪問看護実績 (件)
		吸引器	吸入器		
21年度	40	40	18	9	338
22年度	41	41	15	7	189

(5) 在宅療養支援地域ネットワーク事業

難病の地域ケア・ネットワークづくりをめざして「難病保健医療福祉調整会議」及びその下部組織として、難病実務者会議を設置している。

医師会、障害者福祉・介護保険の担当部署、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、及び医療機関等の関係機関の実務者により構成する会議を開催し、研修や事例検討、情報交換などを通して地域の課題を検討する場としている。

在宅療養支援ネットワーク事業実施状況（表6-5）

開催日	会議名	内容
22年6月2日	実務者会議	実務代表者による地域課題検討 10人
22年7月23日	実務者会議（研修会）	「在宅人工呼吸器に強くなろう！」 15人
23年1月31日	実務者会議（研修会）	神経難病の理解と接し方のポイント～基本的理解を深める～ 58人
23年2月21日	難病保健医療福祉調整会議	・事業報告、次年度計画（案）について ・八王子市における在宅難病療養支援ネットワークについて

(6) 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症難病療養者対策の一つとして要支援者に対する各種サービスの適切な提供をはじめ個々の病状や介護力に応じたきめの細かな支援を行うために、在宅療養支援計画策定・評価事業を実施した。

なお、評価委員会は保健所職員のほか、アドバイザーとして東京都医学総合研究所職員の協力を得て実施している。

(7) 緊急一時入院事業

東京都の緊急一時入院事業を利用し家族の介護疲れや病気入院等により、介護が困難になったとき、患者本人を一時的に入院させることができる病床を確保して、安定した在宅療養が継続できるよう申請受理・調整を行った。

緊急一時入院制度利用状況（表 6 - 6）

区 分	延利用者数	延利用日数
21年度	17	279
22年度	6	91

7 精神保健福祉

精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害の早期発見・早期治療の促進及び精神障害者の社会復帰・社会参加を援助するため、相談、訪問指導、精神保健福祉に関する教育、広報活動、患者・家族等の組織育成等の事業を行っている。

なお、庁内の関係部署や地域の関係機関と日常的な連携をはかり、安心して暮らしやすい地域づくりを目指している。

(1) 地域精神保健福祉連絡協議会及び専門部会

精神障害に対する地域ケアの充実と地域住民の心の健康の保持増進を総合的かつ効果的に進めることを目的に、地域の関係機関の代表者による協議機関として、八王子市地域精神保健福祉連絡協議会を設置している。

また、具体的な課題について協議・検討するため、下部機関として、関係機関の実務担当者による「専門部会」を設置している。

専門部会主催で開催する「八王子市精神保健福祉講座」は、市内の関係機関が精神障害者の理解を深め、相互の連携構築を目的に、毎年1回実施している。

地域精神保健福祉連絡協議会（表 7 - 1）

開催日	内 容
22年7月26日	①八王子市地域精神保健福祉連絡協議会専門部会（平成21年度実施報告及び22年度実施計画） ②八王子市障害者福祉課精神保健福祉事業（平成21年度実施報告及び22年度実施計画） ③八王子市保健対策課（保健所）精神保健福祉事業（平成21年度実施報告及び22年度実施計画） ④八王子市健康福祉部生活福祉課における居宅生活安定化支援事業について ⑤八王子市における自殺総合対策について（協議）

地域精神保健福祉連絡協議会専門部会（表7-2）

開催日	内 容
22年8月6日	①平成22年度八王子市地域精神保健福祉連絡協議会実施報告 ②平成21年度専門部会報告 ③平成22年度専門部会計画(協議)
23年2月3日	①平成22年度第1回専門部会報告及び第11回精神保健福祉講座実施報告 ②平成23年度専門部会計画

(2) 精神保健福祉相談

精神疾患に関する診断や対応方法等について、専門医等による一般精神保健福祉相談（月2回）、老人精神保健相談（隔月1回）、酒害相談（隔月1回）及び思春期相談（月1回）を実施した。保健師による家庭訪問、来所面談、電話相談等は随時実施している。

精神保健福祉相談・訪問指導（専門医による）（表7-3）

年 度	精 神 保 健 福 祉 相 談							精 神 保 健 福 祉 訪 問 指 導							
	実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				
				老 人 精 神 保 健	ア ル コ ー ル	思 春 期	一 般 精 神 保 健				老 人 精 神 保 健	ア ル コ ー ル	思 春 期	一 般 精 神 保 健	そ の 他
21	48	113	119	17	11	31	60	2	2	2	—	—	—	2	—
22	48	122	126	18	10	37	61	3	3	3	—	—	1	2	—

精神保健福祉延相談数（保健師による）（表7-4）

区 分	社会復帰	老人精神	依存症	児童・思春期	心の健康づくり	一般その他の 困難相談	合計	
21	383	366	161	179	147	4,084	5,320	
22	358	224	220	265	508	4,597	6,172	
内 訳	家 庭 訪 問	67	40	30	18	150	276	581
	面 接 相 談	77	21	33	50	76	505	762
	電 話 相 談	102	84	62	132	177	2,191	2,748
	文 書 等 相 談	9	3	7	30	7	818	874
	関 係 機 関 連 絡	103	76	88	35	98	807	1,207

未治療・治療中断患者等地域支援事業（困難事例検討会）

保健師が地区活動を実施している対象者で、多問題で対応が困難な未治療・治療中断事例を東京都立多摩総合精神保健福祉センターの医師や職員をスーパーバイザーとして事例検討し課題解決につなげている。平成22年度は11回実施した。

(3) 精神保健福祉法に基づく医療保護入院

精神保健福祉指定医に精神障害があると診断され、かつ医療及び保護のため、入院の必要があると認められた場合、本人の同意がなくても、保護者の同意があれば、入院（医療保護入院）させることができる。

当所に報告された管内の精神病院（16か所）が扱った医療保護入院数は表のとおりである。

医療保護入院届出数（法第33条第1項）（表7-5）

年 度	管 内 総 計	症状性を含む器質性精神障害			精神作用物質使用による精神及び行動の障害				統合失調症・分裂型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害	ストレス関連障害等	神経症性障害	成人行動の障害	精神遅滞	その他の精神障害	てんかん	その他
		小 計	認 知 症	認知症以外	小 計	アルコール使用	覚せい剤	その他の使用									
21	1,475	605	527	78	74	57	12	5	529	176	31	30	30	-	-	-	
22	1,526	582	488	94	64	54	6	4	597	192	26	30	35	-	-	-	

(4) 警察官通報等による保護の申請、通報の受理

警察官等は、精神障害のために自傷他害のおそれがある者を発見したときは、直ちに、もよりの保健所長を経由して知事に通報することになっている。

精神保健法に基づく診察及び保護の申請または通報受理数（表7-6）

年 度	管内総数	内 訳			
		第23条 （一般人の申請）	第24条 （警察官の通報）	第26条の2 （精神病院管理者の届出）	第26条の3 （心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報）
21年度	65	-	65	-	-
22年度	73	-	73	-	-

(5) 精神障害者社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）

回復途上の精神障害者がスポーツ、創作、料理、ミーティング、屋外活動等の集団生活指導を通じて、社会生活の適応と対人関係の改善を図ることを目的として、保健所で月3回行っている。

また、グループワークの他、個別相談会を年3回実施し、個別のアセスメントを行い目標の確認や卒業後の生活のイメージを持つなどステップアップを図った。

さらに、家族懇談会も年2回開催し、病気の理解を深めるとともに、家族にグループ活動を理解してもらう場となった。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）実施状況（表7-7）

年 度	実施回数	参 加 者 数	
		実参加者（人）	延べ参加者（人）
21	36	23	387
22	37	13	224

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）参加者の動向（表7-8）

年 度	区 分	総 数	就職(学)	家庭内適応	他部門	中 断	継 続	その他	男女計
21	男	9	-	2	4	-	2	1	16
	女	7	-	2	5	-	-	-	
22	男	7	-	-	-	-	6	1	13
	女	6	1	-	-	-	5	-	

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）事例検討会

個別アセスメントグループのグループワーカー、関係機関職員、東京都立多摩総合精神保健福祉センター職員、保健師等で利用しているメンバーの事例検討会を平成22年度は3回実施した。

(6) 思春期の課題を抱える家族グループ

社会的引きこもり等の課題を抱える家族を対象に、家族がより良い対応やコミュニケーションの工夫を学び、「引きこもり」等の理解と回復を目的とする親のためのグループワークを実施（月1回開催）している。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

思春期の課題を抱える家族グループ実施状況（表7-9）

年 度	実施回数	参加者数	
		実参加者(人)	延参加者(人)
21	12	24	112
22	12	12	159

(7) 組織育成・普及啓発事業等

ア 講演会

地域住民や患者家族等を対象に、精神保健福祉に関するさまざまな問題について、講演会を実施し、精神保健福祉知識の普及・啓発を図ることを目的としている。

精神保健福祉講演会開催状況（表7-10）

開催日	対象	テーマ	講師	参加人数
平成22年6月3日	さーくる南会	八王子市保健所の精神保健福祉活動	八王子市保健所保健師	14名
8月30日	高齢者支援課	新人ケアマネ研修	八王子市保健所保健師	39名
10月29日	心の健康フェスティバル	統合失調症から回復するための新しい治療システム	恩方病院 渡部 和成 氏	202名
12月14日	関係者	地域保健福祉講座 「地域で生活すること」	駒木野病院 サービスステーション駒木野 室長 山口 多希代 氏	53名
平成23年1月24日	関係者	ひきこもる若者の理解	多摩精神保健福祉センター 平賀 正司 氏	41名
2月7日	市関係者	自殺総合対策研修 「自殺を身近なものとして」	あしなが育英会 西田 正弘氏 全国自死遺族総合支援センター 南部 節子氏	79名

イ 自殺対策研修

平成10年以降自殺者数は高い水準が続いている。背景には健康問題、経済・生活問題、家族問題、勤務の問題等が複雑に関係し、追い込まれた末の死といわれている。自殺に関する普及啓発とともに自殺の危険のある人を早期に発見し、自殺予防のために連携協力して取り組む「ゲートキーパー」の養成を実施した。

年 度	回 数 (回)	参加者数 (人)
22	2	222

ウ こころの健康フェスティバル

精神保健に関する知識の普及啓発を図り、地域住民の心の健康の保持増進を目指して開催した。市内の精神科病院・診療所や精神障害者社会復帰施設、児童民生委員、家族会等と協働で企画運営することで、関係機関のネットワークづくりにも寄与した。

こころの健康フェスティバル実施状況 (表 7-11)

開催日	会 場	内 容	参加人数
22年10月29日	クリエイトホール	内容：舞台発表・作品展示・相談コーナー等 参加協力機関：20団体(病院・医院8、社会復帰施設4、家族会2、八王子市民生委員・児童委員協議会、ボランティア団体1、八王子市社会福祉協議会、東京都立多摩総合精神保健福祉センター、八王子市障害者福祉課)	420

(8) 家族会支援

精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のため、精神障害者の家族会、認知症高齢者家族会に会場提供や技術支援を行っている。

家族会開催状況 (表 7-12)

会の名称	わかくさ家族の会	さーくる南	ふれあいの会
対 象	八 王 子 市 の 精神障害者を持つ家族	南 大 沢 周 辺 の 精神障害者を持つ家族	八 王 子 市 の 認 知 症 高 齢 者 を 持 つ 家 族
保 健 所 が 支 援 し た 回 数	7	2	4

8 保健師活動

保健師活動は、地域住民の健康の保持増進、疾病の予防と早期発見・健康回復及び社会復帰への援助などを目的として、地域の保健需要に基づき、感染症、精神、難病、障害児等に対応する。具体的な活動内容は家庭訪問、健康相談、健康教育、関係機関との連絡調整、保健活動推進のための企画、運営への参画、保健・医療系学生への教育、実習指導及び研究活動などである。

(1) 専門的・広域的対人保健活動

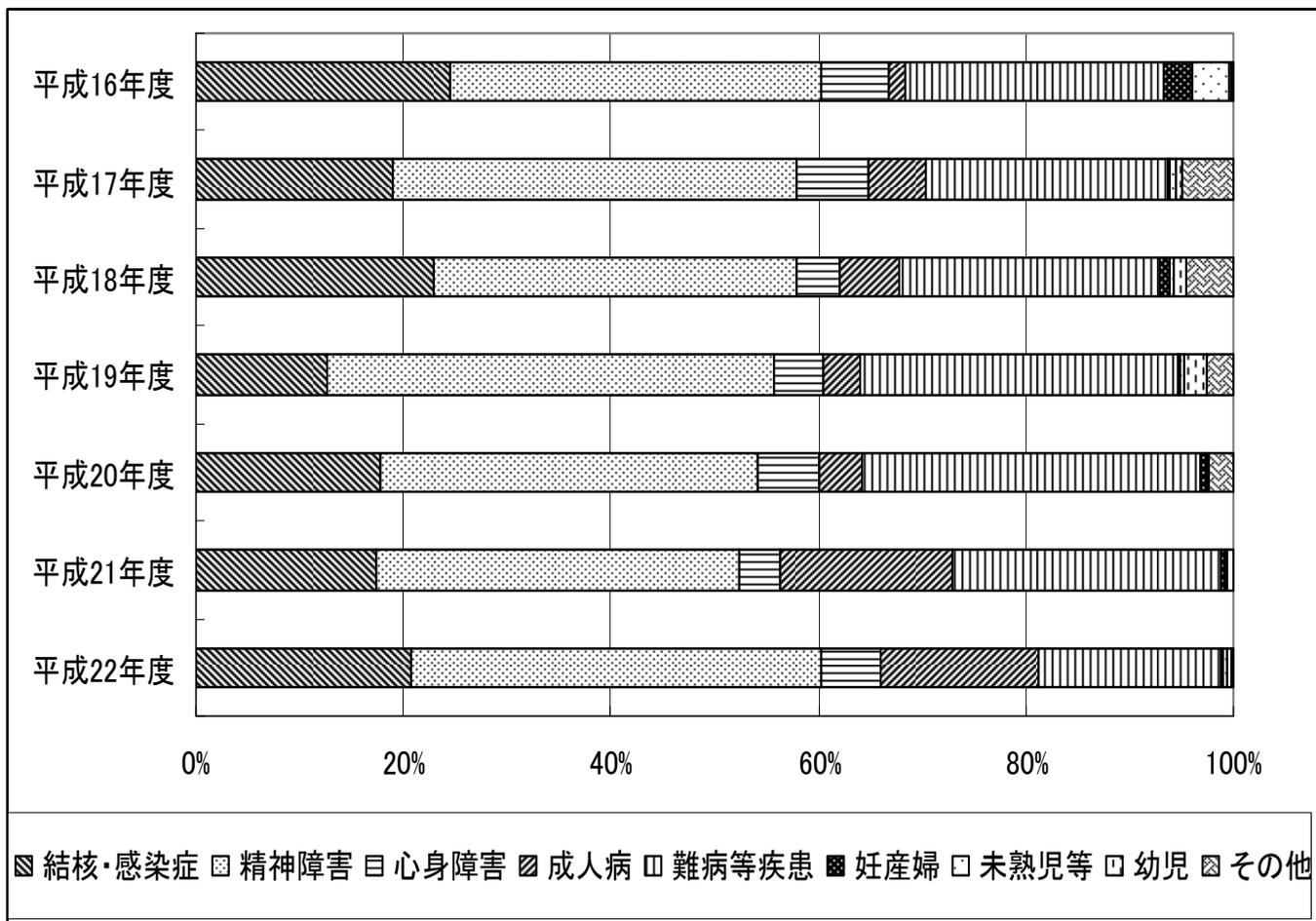
ア 保健指導体制

市内を8つの地域に分割し地区担当保健師が対応している。また、処遇困難事例については業務担当リーダーと地区担当保健師が連携し複数で対応している。

イ 地区活動状況

保健師の家庭訪問対象の推移（平成16～22年度）（表8-1）

（単位 %）



保健師活動状況（表 8 - 2）

年 度	区 分	総 数	感 染 症 対 策 担 当			地 域 保 健 担 当											
			感 染 症	結 核	エ イ ズ	精 神 保 健 福 祉	心 身 障 害	生 活 習 慣 病	難 病	そ の 他 疾 患	妊 産 婦	乳 児	(再掲)			幼 児	そ の 他
													未 熟 児	新 生 児	一 般 乳 児		
21	家庭訪問	1,308	46	172	9	457	52	218	309	30	4	3	-	1	2	8	-
	所内相談	1,427	76	361	48	587	15	46	236	12	2	3	-	-	3	2	39
	電話相談	9,654	4,064	1,177	329	2,508	198	175	709	189	9	22	2	3	17	16	258
	文書その他の相談	1,422	2	288	1	534	36	4	546	10	-	-	-	-	-	1	-
	関係機関連絡	3,148	517	496	51	1,234	220	10	589	-	4	2	2	-	-	-	25
	合計	16,959	4,705	2,494	438	5,320	521	453	2,389	241	19	30	4	4	22	27	322
22	家庭訪問	1,470	40	260	6	581	84	223	256	2	3	6	-	1	5	8	1
	所内相談	2,026	73	670	41	799	31	45	310	14	-	7	-	1	6	11	25
	電話相談	7,470	429	1,899	301	2,823	373	275	695	77	16	32	3	2	27	29	521
	文書その他の相談	1,777	16	659	1	882	17	18	182	2	-	-	-	-	-	-	-
	関係機関連絡	3,152	158	1,070	30	1,295	277	8	301	3	2	4	2	1	1	-	4
	合計	15,895	716	4,558	379	6,380	782	569	1,744	98	21	49	5	5	39	48	551

* 心身障害に重症心身障害児(者)及び長期療養児を含む

学会報告状況(表 8 - 3)

学 会 名	係 名	演 題
東京都福祉保健医療学会	地域保健担当	八王子市における難病療養支援について ～医療費助成申請時の関わりから難病療養支援ネットワークを振り返る～
	感染症対策担当	学校教育部と連携した施設調査についての考察 ～感染症に関する施設調査（市内小・中学校）～

(2) ヘルスプロモーションを推進するための活動

地域住民の健康の保持・増進を推進するため、セルフヘルプグループの育成・活動の支援を行った。

また、地域住民組織や関係団体等への支援を積極的に実施し、地域のネットワーク化に努めた。

地域住民・関係団体等への支援・連携状況（表8-4）

区分	関係機関・団体	回数	参加人数	支援内容	
セルフヘルプグループ	精神 精神障害者地域家族会	14	362	精神障害者家族の交流や自主グループとしての会の運営等への支援	
	難病 難病患者・家族交流会	27	736	セルフヘルプグループ交流会	
	母子 ひよこの会	10	291	セルフヘルプグループ交流会	
関係機関支援	八王子PSW研究会	12	…	連携会議	
	地域生活支援センター	1	…	地域生活支援センター活動報告会	
	障害者就労・生活支援センター	1	…	運営協議会	
	八王子精神科看護師長会	3	…	精神科病院看護師長の連絡、連携、研修会	
	グループホーム入居支援会議	11	…	入居支援	
	退院促進支援事業地域ケア会議	12	…	精神障害者の退院支援に関する検討	
	福祉ホーム利用者支援会議	6	…	相談支援研修会	
	地域	地域包括支援センター連絡会	1	…	地域包括支援センターと高齢者支援課、その他関係機関との情報交換
		地域包括支援センターブロック会議	6	…	地域包括支援センター職員、民生委員、老人会その他との情報交換

9 検査実施状況

(1) 受託検診（表9-1）

検査項目		21年度	22年度
		総数	総数
総数		10,520	10,052
尿検査	小計	2,788	2,700
	蛋白質	697	675
	糖	697	675
	ウビリノーゲン	697	675
	潜血	697	675
血液生化学的検査	小計	7,618	7,236
	白血球数	689	652
	赤血球数	689	652
	血色素	689	652
	ヘマトクリット	689	652
	G O T	691	657
	G P T	691	657
	γ-GTP	691	657
	コレステロール	691	657
	中性脂肪	691	657
	HDLコレステロール	691	657
	尿酸	26	32
	血糖	690	654
生理学検査	心電図	114	116

(2) エックス線検査

事業別エックス線検査実施数（表9-2）

年 度	区 分	総 数	感染症法によるもの				
			患 者 家 族 検 診	接 触 者 検 診	管 理 検 診	受 託 検 診	結 核 対 策 特 別 促 進 事 業
21	デジタル撮影	1,859	111	339	42	1,221	146
	直接撮影	390	—	70	—	320	—
	間接撮影	124	—	—	—	124	—
22	デジタル撮影	1,789	79	271	53	1,191	195
	直接撮影	366	—	51	—	315	—
	間接撮影	116	—	—	—	116	—

* デジタル撮影：所内DR撮影及び所外CR検診車分

(3) 医療監視

診療用エックス線装置備付届により医療法に基づいて、医療監視指導を実施した。

医療監視実施件数（表 9-3）

年 度	総 数	診 療 所	歯科診療所	そ の 他
21	35	21	14	—
22	39	20	19	—

10 医療費助成

療育医療及び自立支援医療（育成医療）については申請受理・認定審査・支払事務を、大気汚染医療については申請受理・認定審査事務を、妊娠高血圧症候群等医療及び未熟児養育医療については認定審査・支払事務を、特殊疾病及び小児慢性疾患医療費助成等の経由事務については申請受理・東京都への進達事務を行い、患者等に対する適切な医療の提供と経済的負担の軽減を図った。

（表 10-1）

疾 病 名		22年度 申請受理 件 数	22年度 認定件数	
総 数		7,664	7,599	
妊娠高血圧症候群等医療		2	2	
未熟児養育医療		120	120	
自立支援医療（育成医療）		68	68	
療育医療		1	1	
小児慢性疾患	神経・筋疾患	31	31	
	慢性心疾患	107	107	
	膠原病	13	13	
	慢性腎疾患	42	41	
	内分泌疾患	108	107	
	糖尿病	26	26	
	先天性代謝異常	15	15	
	慢性血液疾患	20	20	
	悪性新生物	74	74	
	呼吸器疾患	17	17	
	消化器疾患	12	12	
小児慢性疾患 合計		465	463	
特 殊 疾 病	神 経 系	多発性硬化症	72	72
		重症筋無力症	75	73
		スモン	4	4
		筋萎縮性側索硬化症	29	29
		脊髄小脳変性症	130	130
		パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）	441	431

	アミロイドーシス（原発性アミロイド症）	5	5
	後縦靭帯骨化症	120	118
	ハンチントン病	1	1
	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	50	46
	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）	52	52
	広範脊柱管狭窄症	28	27
	プリオン病	4	4
	神経線維腫症（Ⅰ型/Ⅱ型）	11	11
	球脊髄性筋萎縮症	3	3
	ライソゾーム病（ファブリー病含む）	2	2
	黄色靭帯骨化症	4	2
	進行性筋ジストロフィー	11	11
	脊髄性筋萎縮症	3	3
	脊髄空洞症	5	4
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	27	27
	母斑症	7	7
	ミオトニー症候群	21	21
	ミトコンドリア病	3	3
	遺伝性（本態性）ニューロパチー	6	6
	先天性ミオパチー	2	2
	神経系 合計	1,116	1,094
膠原病	ベーチェット病	91	90
	全身性エリテマトーデス	238	236
	サルコイドーシス	67	64
	強皮症	100	99
	皮膚筋炎・多発性筋炎	64	63
	結節性動脈周囲炎（結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎）	32	32
	高安病（大動脈炎症候群）	21	21
	悪性関節リウマチ	18	17
	ウェゲナー肉芽腫症	2	2
	特発性大腿骨頭壊死症	53	50
	混合性結合組織病	57	57
	シェーグレン 症候群	58	56
	特発性好酸球増多症候群	-	-
	アレルギー性肉芽腫性血管炎	6	6
	強直性脊椎炎	18	16
	膠原病 合計	825	809

その他	再生不良性貧血	30	30
	特発性血小板減少性紫斑病	82	74
	潰瘍性大腸炎	556	553
	ビュルガー病	19	19
	天疱瘡	24	23
	クローン病	134	133
	劇症肝炎	2	2
	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	48	47
	膿疱性乾癬	9	9
	原発性胆汁性肝硬変	88	86
	重症急性膵炎	8	7
	原発性免疫不全症候群	3	3
	特発性間質性肺炎	34	29
	網膜色素変性症	108	108
	肺動脈性肺高血圧症	3	3
	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5	5
	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	2	2
	肥大型心筋症	4	4
	リンパ脈管筋腫症（LAM）	6	6
	間脳下垂体機能障害	36	35
	ウィルソン病	4	4
	人工透析を必要とする腎不全	1,094	1,094
	骨髄線維症	7	7
	ネフローゼ症候群	70	68
	多発性嚢胞腎	14	14
	特発性門脈圧亢進症	3	3
	びまん性汎細気管支炎	13	13
	網膜脈絡膜萎縮症	5	5
	自己免疫性肝炎	45	45
	先天性血液凝固因子欠乏症等	22	22
原発性硬化性胆管炎	2	2	
肝内結石症	2	2	
成人スチル病	14	14	
その他 合計	2,496	2,471	
特殊疾病合計		4,437	4,374
ウイルス肝炎	B型ウイルス入院医療	2	2
	C型ウイルス入院医療	3	3
	B型・C型ウイルス肝炎治療	253	253
	ウイルス肝炎 合計	258	258

大 気 汚 染 医 療	気管支ぜん息	2,313	2,313
	慢性気管支炎	-	-
	ぜん息性気管支炎	-	-
	肺気しゅ	-	-
	大気汚染医療 合計	2,313	2,313

- *1 特殊疾病及び小児慢性疾患の複数の疾患名の申請については各1件として計上。
- *2 特殊疾病の重症申請は件数に含まない。
- *3 変更届等は件数に含まない。